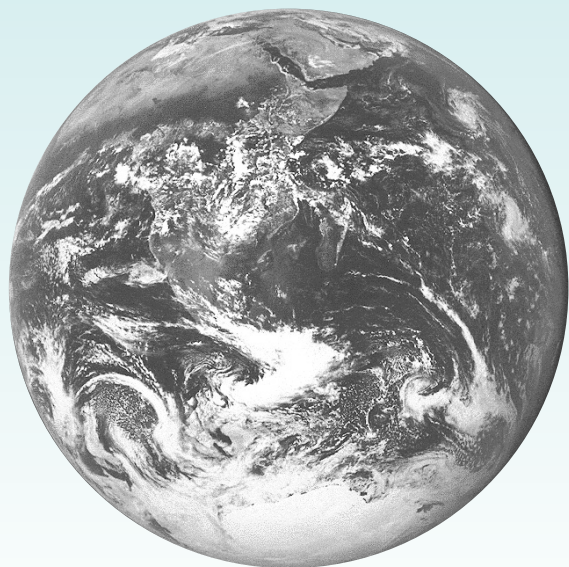


持続可能な社会づくりのために



環境省 環境カウンセラー 出口 省 吾*

※裏面「いきいきマイタウン」で紹介

ぼくが小学生のころ、人類が月面に立った。大人になった頃には、月や火星などに住む時代がやって来るんだと信じていた。でも、学年が上がって勉強をすればするほど、それは夢物語だと思うようになった。大気がない。水がない。重力が…あって当たり前のもので、どれほど大切なものかということを知ったからである。これからも、私たちが住むことのできる星は1つだけ… 青く輝く地球しかないんだ。

第1話 子どもたちに美しい地球を

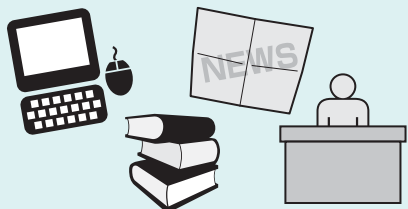
私たちが子どもの頃、大人たちは明るい未来の話をしてくださいました。いろいろすばらしいものが発明されて、便利で進んだ明るい未来になるという話でした。これらの話は今ではほとんど実現してしまいました。でも、私たちは歴史上これまでにないような便利で快適な生活を手に入れたにもかかわらず、決していいことばかりではありません。物質的な豊かさを手に入れた代償に心の豊かさを失いかけているのです。さらに地球環境問題という大問題に直面しています。今、私たちは子どもたちに暗い未来の話をしなければならないのです。私たちの便利で快適な生活が原因で地球温暖化が進行しているといわれています。

このまま地球の気温が上昇し続け、**+2℃**を超えると、**異常気象 水不足 マラリアなどの感染症 飢え 洪水 砂漠化**などにより、地球上で**数十億人が被害を受ける可能性**があると推測されています。

このペースでいくと**2028年頃**に+2℃に達すると予測している科学者もいます。このままでは子どもたちの未来はなくなってしまいます。これからは新しい時代（持続可能な社会）へシフトしていくことが必要なのです。地球は現在の自分たちだけのものではないはず。すべての資源を私たちの時代だけで使い果たしてしまい、廃棄物で汚染し、この先、生物が住めない環境にしてしまっているのでしょうか？

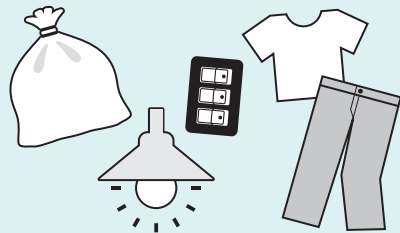
子どもたちのために、野生生物のために、私たちは美しくてきれいな地球を残す義務があるのです。そのために必要なことは…

第1段階「事実を知る」



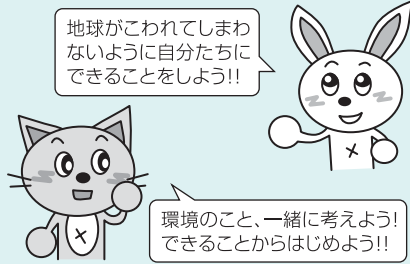
インターネットや本、新聞で調べる、講演会に行くなど

第2段階「自分にできることを行動に移す」



ごみの分別、電気を消す、リサイクルなど

第3段階「周りに広める」



一人ひとりの小さな活動でも、みんなに広め、それが地球規模で広がれば大きな力になります。環境保全を重視する人が増えると、政治や企業も変わっていくのです。そうなれば、地球環境問題も解決できるのです。

関北勢庁舎 生活環境課 T 72-3946 F 72-3748